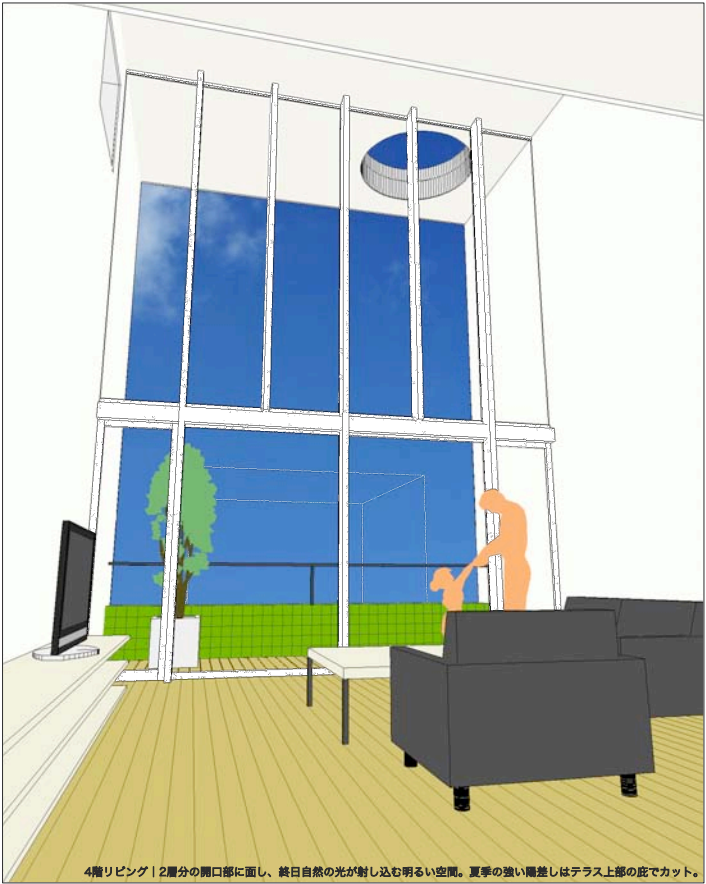




南側全景 | 駐車場を兼ねた前庭を持ち、ファサードは積極的にガラスを利用して明るい住空間をつくる。



南東側全景 | 東側外壁面には朝日を取り込む凹み+スリットと開口部を設ける。



4階リビング | 2層分の開口部に面し、終日自然の光が射し込む明るい空間。夏季の強い陽差しはテラス上部の庇でカット。

都市の中で、いろいろな光と風を感じる家

敷地の特性を読み取り、都市で住み続けることを目的としてつくられた門型のシンプルな筒状の空間の中に自然の光を取り込み、風が通り抜けるのを感じられる家をつくります。

本プロジェクトでは次の4つのテーマを掲げて計画しています。

- 1) 光が溢れ、風を感じ、緑を楽しむ生活空間
- 2) 明るくゆるやかに広がりを感じるLDK
- 3) 柱型や梁型が出ないすっきりとした室内空間
- 4) 木目をコンクリートに転写させた打放し仕上げにすることで、和テイストを演出

※右端に施工事例写真を掲載

■敷地分析

杉ノ町通りに面し間口が約6m、奥行きが約22mの南北に長い敷地で、南側は道路を隔てた反対側に立体駐車場、西側は平置き駐車場、東側は低層のビル、北側は11階建てのワンルームマンションが建っている。

この辺りは商業地域のため、将来東西側には本プロジェクトと同規模以上の建物が建つ可能性が高い。

これに対し、南面に面した杉ノ町通りは、歩道を含め幅員が15mあり、かつ街路樹や植栽帯が連なる都市の中ではわりと閉塞感が少ない環境の敷地といえます。

1) 光が溢れ、風を感じ、緑を楽しむ生活空間

密集した高層ビルの中にある敷地に建物を作る場合、建物中央部に中庭を設けて自然の光を建物内に取り込む方法があります。ただ、風を動かすには出入口をつくらなくと完全ではないので、北側の室内環境は南側に比べ劣ってしまいます。また、南北に部屋を分断してしまうため、視覚的な繋がりはあるものの生活空間としては使いにくいこともあります。

だから、本プロジェクトではプライバシーを確保しつつより多くの自然の光を室内へ取り込み、かつ風の通り道を確保するために南北に壁で覆われた前庭と光庭を設けました。

視覚的な空間の広がりだけでなく、実質的に室内空間として利用できる床面積を確保するために3～5階の建物中央部には中庭を設けず、東側に南北面に開いたスリットを設け、自然の光が届きにくい住環境にも自然の光を積極的に取り込みます。

2階は、杉ノ町通りから引きをとることで、街路樹を借景として楽しみ、4階の家族が集まるリビングに面しては大きなテラスを設け、ガーデニングを楽しんだり、読書をしたりといった生活を豊かにする空間になることをイメージしています。

2) 明るくゆるやかに広がりを感じるLDK

南側のテラスに面して配置したリビングは、2層分の開口部をもち、終日自然の光が射し込む明るい住空間になります。

北側の吹抜に面したキッチン、天井いっぱいまで開口部にすることで、敷地北側にありつつも拡散光によって明るい家事空間になります。

キッチンからリビング方向を見ると、EVシャフトがダイニングキッチンとリビングをさりげなく分割するものの住まい手の視線の抜けを確保することで、閉塞感を生じさせないゆるやかに広がる住空間をつくります。

3) 柱型や梁型が出ないすっきりとした室内空間

扁平ラーメン構造を採用することで、床板を梁、外壁を柱と置き換えることができるので、柱型や梁型が室内に露出せず、階高を抑えながらも天井高を確保することができるメリットがあり、コスト面でも経済的な架構形式です。

※柱型や梁型がない室内空間のメリット

- ・障害になるものが室内へ露出していないので、レイアウトを変更する場合の自由度が高い。
- ・ラーメン構造の床板や壁に比べて、コンクリートが厚くなるので高い遮音性能が期待できる。

計画概要・外部仕上・内部仕上

■計画概要

敷地面積：134.62㎡(40.72坪)、建築面積：102.77㎡(31.09坪)

各階床面積：1階-96.39㎡(29.16坪)、2階-71.55㎡(21.64坪)

3階-87.70㎡(26.53坪)、4階-93.83㎡(28.39坪)

5階-60.93㎡(18.43坪)

法定延床面積：410.40㎡(124.15坪)※各階床面積の合計

施工床面積：522.19㎡(157.96坪)※吹抜や駐車場を含めた面積

建 蔽 率：76.34%(許容建蔽率80%)

容 積 率：304.86%(許容容積率600%)

建物構造：鉄筋コンクリート造

工法(基礎工法)：扁平ラーメン(杭アースドリル)

■外部仕上

屋根:アイソール防水、外壁:コンクリート打放し光触媒塗布

床:コンクリート一発仕上、開口部:アルミサッシ

■内部仕上

1階-玄関 床:磁器質タイル一部フローリング、壁・天井:エコクロス

2階-床:コンクリート金鍍仕上、壁・天井:エコクロス

3階-書斎・客間 床:フローリング、壁・天井:エコクロス

4階-LDK 床:フローリング、壁:エコクロス一部杉板本実型枠RC打放し部分

打放し、天井:エコクロス

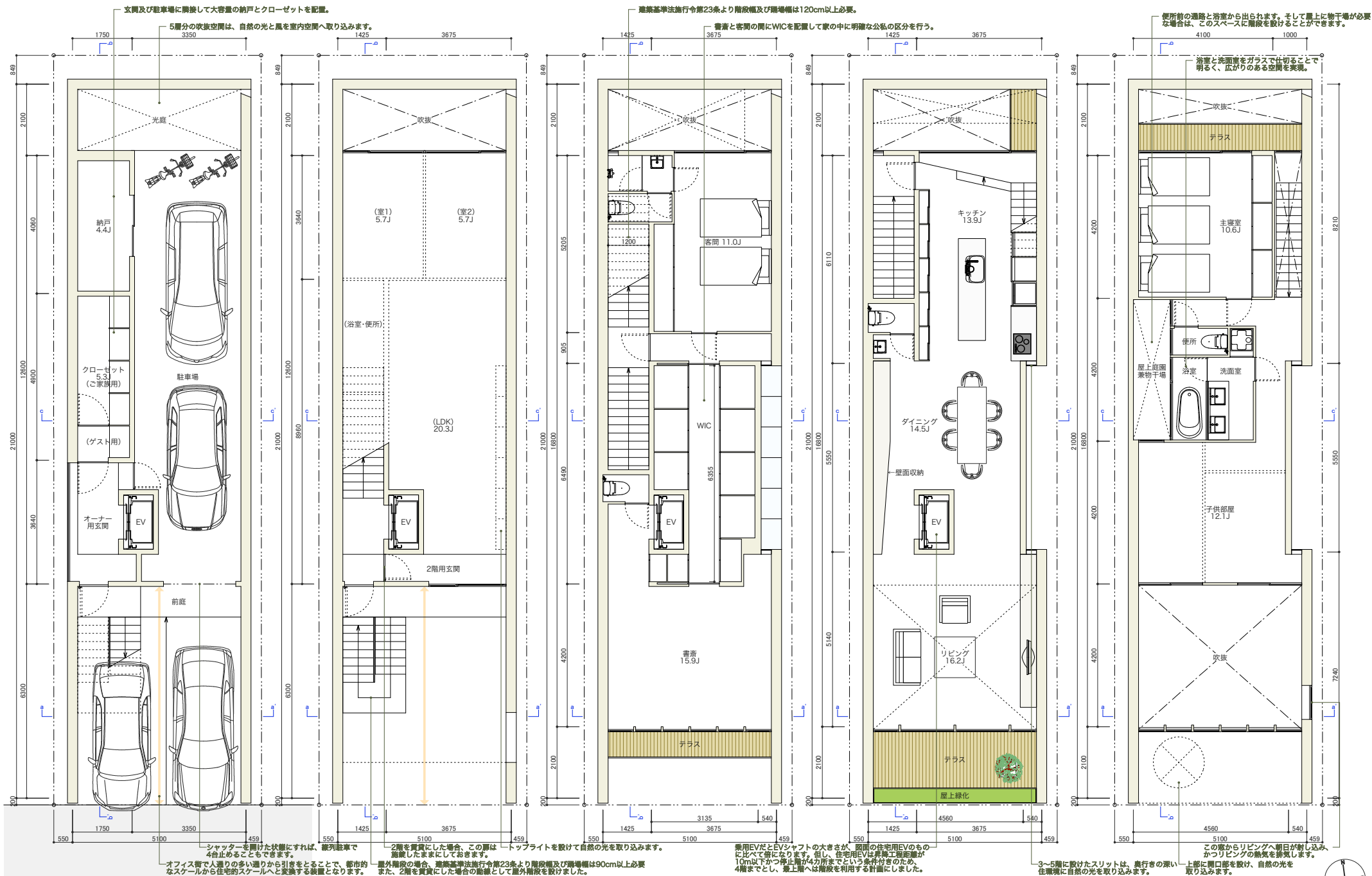
5階-主寝室 床:フローリング、壁・天井:エコクロス

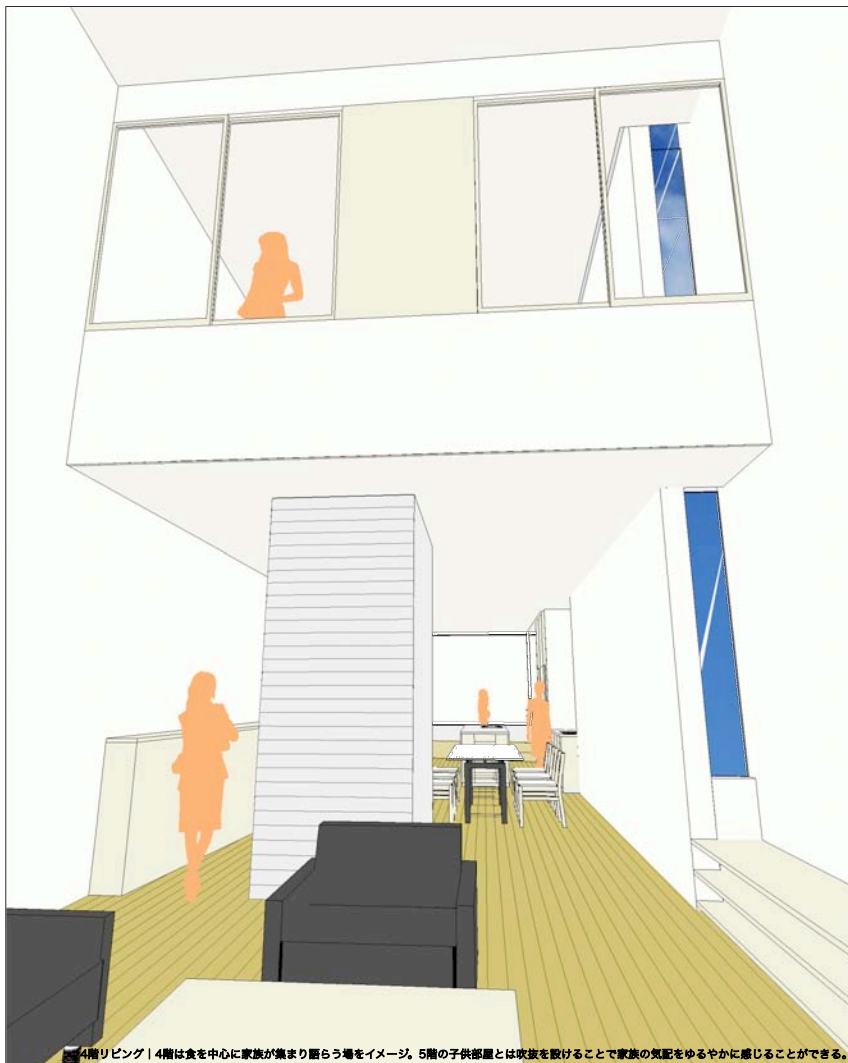
子供部屋 床:フローリング、壁・天井:エコクロス

浴室 床:磁器質タイル、壁・天井:FRP防水

※在籍していた設計事務所でのRC打放しの施工事例







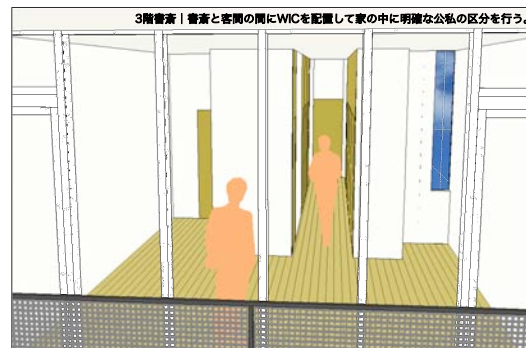
4階リビング | 4階は食を中心に家族が集まり居らう場をイメージ。5階の子供部屋とは吹き抜けを設けることで家族の気配をゆやかに感じることができる。



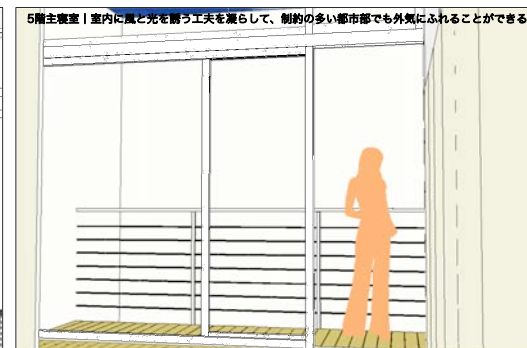
4階キッチン | オープンなキッチン空間は、ダイニングとキッチンをつなげることで、自然に家族との会話を楽しみ、日常生活でのふれあいの場となる。



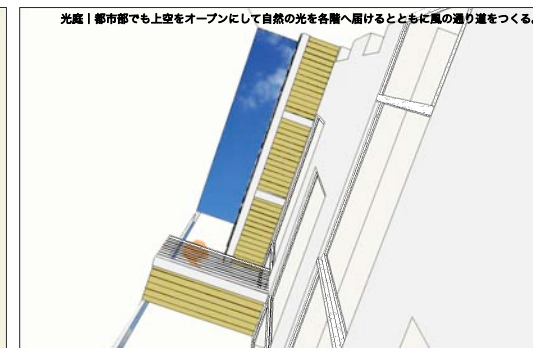
1階玄関 | 玄関奥に靴・コート・傘などを収納できるクローゼットを設ける。



3階書斎 | 書斎と客間の間にWICを配置して家の中に明確な公私の区分を行う。



5階主寝室 | 室内に風と光を誘う工夫を凝らして、制約の多い都市部でも外気にふれることができる。



光庭 | 都市部でも上空をオープンにして自然の光を各階へ届けるとともに風の通り道をつくる。